

令和3年度「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の推進について 砂 防 課

1 要 旨

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として、土砂災害に対する防災意識の醸成と災害の事実を後世に伝承することを目的とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」を推進している。

これまで毎年、啓発に関する取組として「土砂災害防止 県民の集い」を開催してきたところであるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて新たな生活様式への対応を求められていることから、ホール等で講演会を行う従来の開催方式を見直し、興味関心を喚起する様々なツールを利用した集中的な情報発信や各種取組を実施する。

2 プロジェクトの主要な取組

(1) 「啓発」に関する主な取組

土砂災害に関する防災知識の普及と警戒避難体制整備の促進を図るため、様々な啓発活動を実施する。

ア 集中的な広報活動（絵画・作文募集、県HPや広報誌、メディア連携、独自の啓発動画の公開等）

イ 土砂災害に係る啓発ポスターを6月から公共交通機関等に掲示

ウ 日頃から土砂災害リスクを意識できるよう小学校区ごとに土砂災害警戒区域等の標識を設置



絵画・作文募集(SNS)



啓発ポスター



土砂災害警戒区域等の標識

(2) 「防災教育」に関する主な取組

土砂災害に関する防災知識の普及を図るため、学校との協働による子供たちを対象とした「砂防出前講座」や、地域の防災活動の中心となる自主防災組織等を対象とした「防災教室」に取り組む。

ア 土砂災害防止月間における主要な取組として、国やICT企業と連携し、県内の3地区（西部、東部、北部）で地元住民や小学生へICTを活用した防災教育や体験学習を実施

イ 小・中学校、及び防災教育を担う教師等を対象とした「砂防出前講座」の実施

ウ 自主防災組織の代表者等を対象とした「防災教室」の開催



大型模型を用いた体験学習



砂防出前講座



自主防災組織への防災教室

【裏面に続く】

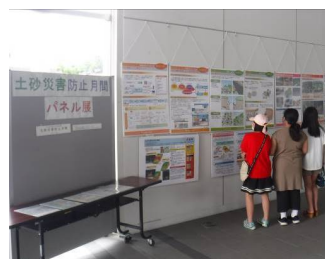
(3) 「伝承」に関する主な取組

災害伝承や防災教育等の機会を通じて過去の被災事実を伝え、地域の“語り部”を育成することを目的に、過去に発生した土砂災害の資料収集・記録・共有する取組を進める。

- ア 県ホームページの「地域の砂防情報アーカイブ」に登録した、災害の写真や体験談等の災害記録を「Yahoo!防災速報」アプリの「災害マップ」上で公開
- イ 災害の記憶つなぐ人の輪づくりとして、土砂災害防止に関する啓発・伝承パネル及び DVD の貸出し、啓発パンフレット提供などの地域の災害伝承の取組の支援
- ウ 土砂災害伝承パネル展の開催



「Yahoo!防災速報」アプリの画面



土砂災害伝承パネル展の様子

3 主な実績 (R2 年度)

区分	取組概要	実績
啓 発	「土砂災害防止に関する絵画・作文」の募集 ・広島県の応募作品の中から、 <u>3名が優秀賞（事務次官賞）を受賞</u>	122 作品が応募
	「土砂災害に係る啓発ポスター」の掲示 ・県内の主要な公共交通機関等に掲示	約 14,000 枚を掲示
防災教育	「小・中学校を対象とした砂防出前講座」の実施 ・児童生徒が自分の命を自分で守り抜く力をつけるため小中学校で講座を実施	37 小中学校で実施
	「自主防災組織等を対象とした防災教室」の実施 ・県民が避難行動の判断を適切にとれるよう土砂災害に関する防災知識の向上を図る取組を自主防災組織の代表者等に実施	9 回実施
伝 承	「地域の砂防情報アーカイブ」の公開 ・平成 30 年 7 月豪雨災害の写真などを登録	171 点を新たに公開
	「土砂災害に関する啓発・伝承パネル」の貸出し ・啓発パンフレットの提供など災害伝承の取組を支援	9 団体へ貸出